

今週のメニュー

■トピックス

◇PVC News No.111号を発行

塩化ビニル環境対策協議会

■随想

◇エスワティニ王国旅行記（1）

－エスワティニ王国ってどんな国（その1）－

元一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■編集後記

■トピックス

◇PVC News No.111号を発行

塩化ビニル環境対策協議会

塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は、12月10日に [PVC News No.111](#)号を発行しました。今回は、「水害対策とプラスチック」をテーマとして特集を組みました。近年被害が大きくなっている水害のリスク対策の現状について（公社）雨水貯留浸透技術協会の屋井常務理事に話していただきました。関連して注目を集めている水害対策製品などについて紹介します。

まず、特集のインタビューでは、屋井常務理事から、国の水害対策方針が、従前の雨水を河川に流さないようにする「総合治水」から、「流域治水」へと転換する話をいただきました。つまり、雨水の氾濫による被害に対し、氾濫域にとどまらず流域全体で水循環を良くすることにより対策を図っていくものです。「流域治水」を進めていくための手段の一部として、雨水貯留浸透施設の重要性が益々大きくなっています。そこで、雨水マスや貯留施設などプラスチック製品の貢献が期待されています。

特集のレポートの一つ目は、長年に亘り上下水道用塩ビ管・継手や雨水マス・小型マンホールなどの製品を手掛けている前澤化成工業(株)取材して「水害対策製品」について紹介しています。同社は近年水害対策や新規事業の製品開発に注力しており、水害対策用の塩ビ製の圧力開放型マンホールの蓋や後付け逆流防止弁、雨水貯留浸透ユニット等を開発し、社会的なニーズに応えるべく技術の蓄積に取り組んでいます。

二つ目は、生活・レジャー用品から建築資材までゴムやプラスチックを素材に多彩な製



品を展開しているアキレス(株)を取材して、水害現場で活躍する救助用ボートや、感染症対応塩ビ製品など防災製品を紹介しています。陰圧・陽圧エアータントは、2003年のSARS（重症急性呼吸器症候群）流行時に開発して既に出荷実績があり、今回のコロナ禍でも活躍しています。

次に「リサイクルの現場から」では、様々な資源の有効利用に取り組んでいる(株)ダイトクを取材し、塩ビシートのマテリアルリサイクルの取組みについて紹介しています。5年前に粉碎設備を新設して、破碎や繊維の分離などに時間をかけてリサイクル技術を確立して実績を積み、現在では国内向け再生原料の安定供給に寄与しています。

「インフォメーション」の一つ目は、インテリア最大手の(株)サンゲツを取材して、新規商品の黒板壁紙「Blackboard」^{※1}について開発の経緯や特長について紹介しています。この製品は同社が持っているフィルム汚れ防止壁紙の技術とエンボス加工技術を組み合わせ開発されたアイデア商品で、豊富なカラーリングも好評です。

二つ目は、塩ビコンパウンドや塩ビフィルム事業を展開しているリケンテクノス(株)を取材して、コロナ禍でニーズが高まっている抗ウイルスフィルム製品について紹介しています。他社に先駆けて抗ウイルス製品の開発を積極的に進めてきて、商品化につなげています。With コロナ時代に生活用品における接触感染の防止に大きな期待が寄せられています。

三つ目は、今年創業 102 年を迎えたテント製造業の(株)太陽テントを紹介しています。新設の縫製工場を訪問取材して、テント事業が軌道に乗る転機になった仕事やテント作りの技など社長の苦労話を交えながら、これまで手掛けてきた大型仮設テント、テントハウスなどの話題が満載です。

最後に「広報だより」では、11月25日から28日まで開催された「エコプロ Online 2020」に塩ビ工業・環境協会（VEC）/塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）が共同出展した様子を紹介しています。4編の動画と10点の展示コンテンツで塩ビの基礎知識や環境貢献について紹介しています。

※1 PVC アワード 2019 応募作品（入賞）

PVC ニュースのご講読を希望される方は、下記メールアドレスまで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

info@vec.gr.jp

■ 随想

◇エスワティニ王国旅行記（1）

－エスワティニ王国ってどんな国（その1）－

元一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

2018年、ムスワティ3世国王は、英国領からの独立50年を記念した式典で、同国の国名を「スワジランド王国」から「エスワティニ王国 (Kingdom of eSwatini)」に改めることを宣言しました。

「エスワティニ」はスワジ人の言語、シスワティ語で「スワジ人の場所」を意味します。

「スワジ人の場所」を意味するエスワティニ王国に改める宣言をしたスワジランド、国名変更には、民族意識に基づく理由以外に、もう一つ、別の理由もあります。

それは、英語表記をした際「Swaziland」が、スイスの英語表記「Switzerland」と勘違いされることを防ぐ意図もあるそうで、ムスワティ3世国王は「海外に渡航する度に我々はスイスと関連付けられたり、間違えられたりする」との不満を示されていたそうです。

但し、この国名の変更、世界的にもあまり認識されておらず、Google Mapの表記はスワジランドのまま。

国民の反応も冷やかかで、国名の変更以前に、貧困対策や医療体制の整備など、より喫緊な課題があるとの声も出ているようです。

エスワティニ王国に来て出会った人に聞いてみましたが、ほぼ全員が「スワジランド」のままの方が良かった。国王が勝手に国名を変えちゃったんだよ」と迷惑そうに話していました(^_^;



エスワティニ王国の国旗



[クリックで拡大](#)

ムスワティ3世国王がその座に就任したのは18歳の時。当時は世界最年少の国王であり、就任当時は、世界最年少の国家元首でした。ムスワティ3世国王は、国民の1/3が貧困層であるという事実を軽視し、王室費だけではなく国家予算にまで手をつけて自家用のセスナ機やドイツのダイムラー製の高級車マイバッハを購入したり、2004年には11人の妻のためにいくつもの宮殿を建設したりするなど、その散財癖が各国の非難を呼んでいます。

ところが、国名変更や浪費癖を除き、国民からは意外と好かれているようで、エスワティニ王国の様々な場所に国王の写真が貼られており、国王のことをあまり悪くいう人もいません。

現在も使われているようですが、ムスワティ3世国王の専用機は、日本エアシステム (JAS) が購入し、その後、合併した JAL で 2007 年まで日本の国内線として使われていたマクドネル・ダグラス MD-87 型機 (DC-9 87 型 といった方が分かりやすいかもしれません)。

かなり古い機体ですが、まだ現役のようで、2013年、日本で開催された第5回アフリカ開発会議 (TICAD V) の際、には、当時のスワジランドからムスワティ 3 世国王を乗せ、日本に里帰りしてきました。

この機体、エスワティニ王国の飛行場、政府専用機の駐機場で、きちんと整備された状態で駐機しているのを確認することが出来ました。

エスワティニ王国、地理的には南アフリカとモザンビークの国境に位置しています。国土は起伏が激しく、低いところは標高 21m、高いところは 1,862m です。

私が滞在していたのは標高約 1,000m の場所。

さすがに、この標高になると、アフリカとはいえ、朝晩はかなり冷え込むため、ストーブを利用しています。

アフリカとはいえ、この地域は雨量も多いため、農耕地や牧草場が広がっています。

イギリスからの独立後、農地開放政策で、小規模農家に分断された農場は、現在、効率化という観点から再び統合し、大規模農場に纏まる傾向があります。

但し、やはり大規模農場主は、農地開放政策以前からノウハウを持っていた白人が牛耳っています。

国土の用途を見ると、農耕地が 68.3%を占めています。

エスワティニ王国の面積は 17,363 平方キロメートル。四国の面積より若干狭い大きさです。

首都はムババーネ (Mbabane) ですが、経済の中心はマンジニ (Manzini) です。

街としては、マンジニが一番大きな都市で、ムババーネがそれに続きますが日本の街のような賑わいはあまりありません。

それ以外の街は非常にこぢんまりとしており、ほとんどの街が数百メートルの商店街、そこにスーパーが 1 件、その外れにガソリンスタンドがあるというのが平均的な街の姿のようで、日本の感覚の街とは異なっています。

現在、自然破壊や野生動物の急激な減少が問題となっていますが、エスワティニ王国はハンターたちが数多くやってくるようになる前に、先手を打ち、野生動物が生息している地域を一早く国立公園 (一部、個人が所有し、野生動物の保護に当たっている私立公園もあります) にしたため、かなり多くの野生動物が生息しています。

ライオン、サイなど、日本の方がイメージするアフリカの動物から、他の地域では見ることが出来ない沢山の種類の鳥が生息していることでも知られています。

尤も、見ていて楽しい動物だけではなく、多くの種類の野生のヘビも生息しており、中には毒を持っているものもあり、毎年、ヘビ毒による犠牲者が多数出ています。

このため、ヘビに噛まれた時に問い合わせる、専用のホットラインが設けられているほどです。

それでは、エスワティニ王国旅行記の始まりです。

(続く)

次回は、(2) エスワティニ王国ってどんな国 (その2) です。

エスワティニ王国ってどこにあるの？



矢印が示している国名はスワジランドでは？
そう、エスワティニ王国はスワジランドのことです。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

エコプロ Online2020 アーカイブを 12 月 25 日まで公開しています。VEC/JPEC のサイトでは、動画を音声付きに更新しましたので、ぜひご覧ください。

<https://eco-pro.com/2020/page/sdgs.html>

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
